

年頭のご挨拶



今年はいよいよ平成最後の年ですね。市民の皆様におかれましては、お健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日ごろから市議会に対する深いご理解と格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げますと共に、「議会だより」をご愛読いただき深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ると、スポーツ界ではフィギュアスケートの羽生結弦選手がオリンピック2大会連続金メダル獲得の偉業を成し遂げました。また、男子サッカー日本代表は、6月のロシアW杯において、下馬評を覆し、8年前の南アフリカ大会以来のベスト16に入る奮闘を見せ、多くの人に勇気を与えました。

環境面では日本中で健康被害をもたらした猛暑や伊

豆半島を直撃し当市においても家屋などに大きな被害をもたらした台風24号。北海道では胆振東部地震が発生し、南海トラフ巨大地震の発生が危惧される私たちとしては、とても他人事とは思えない状況でした。

日本の景気においては回復しているとされているものの、地方においてはまだまだ厳しい風が吹いています。

現在の本市を取り巻く環境は、少子高齢化のますますの進行、若年世代の転出、逼迫した財政など、様々な問題が山積しております。

このような中、私たちが議会は、市民の皆様の声を真摯に受け止め、安心して豊かに暮らせる伊豆の国の実現を目指してまいりますと存じます。

昨年10月に、6回目の議

会報告会をグループ討議形式で開催しました。市民の皆様が日々感じていること、体験していることを聞き、直接皆様の声を聞くことの大切さを改めて実感しました。これまで以上に市民の皆様が多様な意見を市政に適切に反映させることができるよう、議員一人ひとりが資質の向上を図ることはもとより、市議会が市民の皆様にとり寄り添った、より身近な存在であり続けるため努力していく所存です。

伊豆の国市議会議員 一同